

3月27日(日) 定例会 JICA 地球ひろば 大会議室(新宿区市谷本村町 10-5、JR 市ヶ谷駅下車徒歩 10分)

遠征準備会議 (13時30分~14時30分) 「ユーラシア大陸横断サイクリング」準備会議

講座「古都サマルカンドに暮らして」

講師:胡口靖夫(シルクロード雑学大学会員、サマルカンド外国語大学名誉教授)(15時~17時)

内容:中央アジアにあるウズベキスタン。国を代表する建物であるナボイ劇場は、スターリンによって抑留された元日本兵によって建てられたといわれています。だが、胡口靖夫氏の調査によれば、ナボイ劇場の設計を行ったのはロシア人の有名な建築家 A・シューセフ。1945年10月30日に、元日本兵がウズベキスタンに抑留された時にはすでに建物はありました。元日本兵として建設工事にかかわった永田行夫氏の記述によれば(「追憶 ナボイ劇場建設の記録 シルクロードに生まれた日本人伝説」NPO 日本ウズベキスタン協会編集・発行)、元日本兵が関わったのは、電気の配線や装飾などでした。また、1960年代にタシケントを襲った大きな地震で、ナボイ劇場は残りました。しかし、ナボイ劇場が地震にも耐えたことは、元日本兵の勤勉な労働との関係を結べないと胡口氏は言うのです。ナボイ劇場が地震で残ったのは、ウズベク人のまじめな労働と関係するのか。事実を追う調査の結果の過程と結果を話していただきます。

講師プロフィール:略

4月9日(土) **遠征準備会議 16時~18時** JICA 地球ひろば 602号室 遠征メンバーによる打ち合わせ

5月22日(日) 定例会 JICA 地球ひろば 大会議室(新宿区市谷本村町 10-5、JR 市ヶ谷駅下車徒歩 10分)

遠征準備会議 (13時30分~14時30分)

遠征報告(15時~17時) 「ユーラシア大陸横断サイクリング」の報告を行います。

今後の海外サイクリング・ウォーキングの計画

① **西安ウォーキング 西安郊外の寺院と陵墓を巡る**

3月14日(月)~21日(月)を計画中。西安の南部にあり、日本との関連の深い興慶宮公園(遣唐使僧・阿倍仲麻呂の石碑)、大雁塔(玄奘三蔵が経典の翻訳)、興教寺(玄奘三蔵の墓がある)をバスで巡り、興教寺周辺で散策をします。農村にある香積寺(浄土宗発祥の地)、草堂寺(鳩摩羅什が仏典をサンスクリットから中国語に翻訳した場所)の周辺を歩きます。茂陵(武帝の陵)と霍去病(かくきよへい)の墓と博物館、乾陵のペガサスなどの石像をみながら歩きます。**参加者を募集中。**

② **「ユーラシア大陸横断サイクリング」第5次遠征 スペインのマドリッドからポルトガルのロカ岬まで。**

4月19日(火)~5月5日(木)の17日間。約400年前にヨーロッパをめざした九州の天正少年使節や仙台の慶長遣欧使節の通ったルートと車社会になった今の道はほとんど変わっていないようです。馬車が利用していたローマ街道が、今も使われている道とほとんど重なるようです。日本からヨーロッパをめざした使節と同様のルートを通して、スペインのマドリッドからポルトガルのロカ岬まで。900キロを越える道のりですが、一部は車で移動したいと思います。

③ **中央アジア 3カ国抑留者の墓参と建築物を見学する旅 参加者募集中**

7月上旬の予定。10日ほど。カザフスタンのアルマティーにある日本人墓地の墓参とアルマティー市内にある日本人捕虜が建てた建物を記録して、見学する。

キルギスにある日本人捕虜が建てた建築物の見学。ウズベキスタンにある日本人捕虜を祈念する博物館の

見学と日本人墓地の墓参。日本人の捕虜が、建設工事の仕上げに関わったナボイ劇場の見学、タシケント郊外のコリアンコルホーズに暮らしていた日本人の捜索に力を入れる。**参加者募集中。**

④ **ツール・ド・シルクロード 10 年計画」第 4 次遠征 ウルキルギスのビシケク郊外～オツシュ間 約 750 km**

8 月 9 日(火)～24 日(水)の 16 日間。ビシケクから車で移動してテヨル・アシュー峠(3586m)から下ります。アラベル峠(3184m)はバスで移動します。トクトグル湖(標高 879m)を通過して、バザルコルゴン、ジャララバード、オスゲンを通過してオツシュ(950m)に向かいます。距離は約 700 km。アップダウンの多いルートです。道路はすべて舗装されているとのこと。航空券は、予約したらキャンセルチャージが必要になりました。この点に注意してください。**参加者募集中。**

⑤ **マケドニアとコソボ、バルカン半島の宗教のモザイク地帯に行く 2016 年希望者がいれば実施します**

15 日間を考えています。バスを極力利用しないで、イスラムとキリスト教の集落を結ぶ。希望者が 5 名集まったら計画します。(一人でシルクロードを走破した女性がバルカン半島も縦断しています。講演を依頼しています。)。希望者は事務局まで連絡をください。

⑥ **仏教伝播の南北ルートを探検にする。申込み者が 4 名そろわないとチベットに入る許可が出ません。また、航空券を予約したらキャンセルチャージが必要になりました。2017 年に延期。参加者募集中。**

バイカル湖の畔にある仏教寺院からモンゴル、中国、チベット、インドネシアと仏教の南北の伝播ルートを自転車で巡る。第 1 回はラサから敦煌を予定。チベットは、4 名以上の団体にビザが発給されるシステムです。また、途中で 5000 メートルの峠越えが 2 回あり、この部分を徒歩や車で通るにしても一番暑い季節に通過する必要があります。チャンスは年に一回だけです。参加希望者は長澤まで連絡をください。現在のところ、小笠原、津田、長澤、倉地の 4 名です。2017 年に延期しました。全体の距離は 1700 キロ。前半は 1 日に 60 キロ、後半は 100 キロを予想しています。日本国内では八ヶ岳をサイクリングするなどして、高度順応すると、人数が 7 名ほどになるように参加者募集に取り組みます。**参加者募集中。**

★シルクロード雑学大学とは

ライフワークのある人生を提案し、シルクロードを中心に「歴史の道を、調べて、学び、旅して、記録して、伝える」をモットーとしている市民サークル。毎月一回、定例会を開催。シルクロード旅行、自転車旅行、研究者の話や講座を開催。年度は 1 月～12 月末。年会費は 3000 円。会員は、東京を中心として約 100 名。定例会は誰でも参加できます。参加費は、一般 1000 円、学生 500 円です。

問合せ:シルクロード雑学大学 長澤法隆 メール：nagasawa_horyu@ybb.ne.jp

〒186-0003 東京都国立市富士見台 3-7-3-4-301

電話 042-573-7667 携帯 090-1769-6641HP http://www.geocities.jp/silkroad_tanken/